

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科		60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識を習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を實踐できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明することができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	保健Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	宮本 知明	実務経験		○	
実務内容	病院で薬剤師として2年、大学病院内研究職5年実務経験を基に、美容に必要な人体の保健と皮膚科学を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習(国家試験過去問題)と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～4章)	筋系、神経系の演習(国家試験過去問題)と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第5章～6章)	神経系、血液・循環器系の演習(国家試験過去問題)と解説
4	人体の構造および機能の復習 (第7章～9章)	呼吸器系、消化器系の演習(国家試験過去問題)と解説
5	皮膚科学(第1章)	皮膚の構造
6	皮膚科学(第2章)	皮膚付属機関の構造(毛)
7	皮膚科学(第2章～3章)	皮膚付属器官の構造(脂腺、汗腺、爪) および皮膚の循環器系と神経系
8	皮膚科学(第4章)	皮膚と付属器官の生理機能

9	総まとめ	テストを実施する
10	皮膚科学(第5章)	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患 (皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹)
12	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患(日光皮膚炎～分泌異常による疾患)
13	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患(化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患)
14	解説 皮膚科学(第6章)	振り返り・解説 衛生害虫による皮膚疾患～皮膚の腫瘍
15	総まとめ	総まとめを行う
16	皮膚科学の復習(第1章～2章)	皮膚の構造と皮膚付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習(題3章～4章)	皮膚の循環系と神経系および皮膚と付属器官の生理機能の演習と解説
18	皮膚科学の復習(第5章)	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習(第6章)	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	文化論	出版社	社)日本理容美容教育センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	中庭 英恵	実務経験	○		
実務内容	アートスクールで講師として10年勤務をした実務経験を基に、理容業・美容業の歴史やファッション文化を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)	現代Ⅰ(1945～1950年代)の髪型・服装・化粧について
6	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960～1970年代)	現代Ⅱ(1960～1970年代)の髪型・化粧・服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960～1970年代)	現代Ⅲ(1980～1990年代)の髪型・化粧・服装について
8	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960～1970年代)	現代Ⅳ(2000年代以降)

9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節	テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	運営管理		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。				
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。 働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	嶋田 律子	実務経験		○	
実務内容	会社経営の実務経験を基に、美容経営に必要な知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節	経営とは何か・継続企業の原則、経営の必要性を理解する
3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第3節 第4節	経営資源と経営計画を理解する
4	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第5節 第6節	経営戦略とは何か/良い店の実現を理解する
5	第2章 理容業・美容業の経営について第1節 第2節	業界の概要について/競争の変化を理解する
6	第2章 理容業・美容業の経営について第3節 第4節	サービスについて/理容業・美容業の顧客についてを理解する
7	第1編 第3章 資金の管理 第1節 第2節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する
8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節	収支と損益、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する

9	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する
10	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
11	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する P50～P61
12	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現①健康診断
13	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現②理美容業の健康問題
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	回答&解説
16	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ
17	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第2節	社会保険①厚生年金を学ぶ
18	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第3節	社会保険②健康保険を学ぶ P80～P83
19	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第3節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P83～P85
20	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第4節	社会保険③雇用保険を学ぶ
21	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第4節	社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
22	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	価値の実態1～3 価値の構造を理解し、システムを学ぶ
24	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	価値の実態4～6 価値の役割を理解し、人の役割を学ぶ
25	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング	マーケティング① マーケティングミックス(短期的要因)を学ぶ
26	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング	マーケティング② マーケティングミックス(長期的要因)を学ぶ
27	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客の実践①～④ P124～P135
28	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客の実践⑤接客におけるトラブル対応
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ	出版社	社)日本理容美容教育センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	板橋 宮子	実務経験	○		
実務内容	美容室で美容師として20年勤務をした実務経験を基に、美容全般の技術と理論を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	≪ 8章 エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマッサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマッサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマッサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マッサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	≪ 9章 ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テールセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマッサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルククラブ技術の手順・グルー&ファイラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマッサージのポイント・手順、フットマッサージのポイント・手順
5	≪ 10章 メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論 2. 顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩 4. 皮膚の生理と構造 5. メイクアップの道具 6. スキンケア 7. ベースメイクアップ	・メイクアップ概論(サロンワーク・スタジオワーク)・顔のプロポーション、顔の骨格と筋肉、顔の立体研究、メイクアップによる立体感、顔の凹凸に基づいたブロッキング・色の三属性、マルセル表色系による色の分類、角度配色・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具・クレンジング、トーンング、プロテクティング・ファンデーションの目的・選び方、塗り方と順序の一例、多色塗り、ハイライト、ローライト、カバーホワイト ベースメイクのアクセントカラー・パウダリング

6	8. アイメイクアップ 9. アイブロウメイクアップ 10. リップメイクアップ 11. ブラッシュオンメイクアップ 12. まつ毛エクステンション	アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニック・眉の整え方、ドローイング、シェーディング ・リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、ブラッシュオンメイクアップ ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例
7	総まとめ	テストを実施する 8章～10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	《 11章 日本髪 》 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
9	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 9. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら(かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ)
10	《 12章 着付けの理論と技術 》 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、 帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
13	まとめ	まとめを実施する 11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	テストの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマネントウエービング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	美容師国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	美容師国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	美容師国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説

26	まとめ	美容技術理論 I・II 重点項目復習
27	美容師国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	美容師国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	美容師国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度	
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	30
使用教材	関係法規・制度	出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。		
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。		
評価基準	テストおよび小テスト:80% 授業態度:20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。		
担当教員	嶋田 律子	実務経験	○
実務内容	美容師養成施設指定規則の通り、関係法規・制度を教えるにあたり必要な資格である中学校教諭1種免許(社会)を取得。教員免許、教員経験により美容師法による規制についての知識を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章 法制度の概要 第1節 第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会における法の役割 日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ~ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節 第2節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する。
8	解説	振り返り・解説

9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する。
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	美容業の運営に関する関連法規
20	第4章 関連法規	美容業の衛生・顧客に関する関連法規
21	まとめ	まとめを実施する。
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する。
27	解説	振り返り・解説
28	総復習(1)	国家試験過去問演習等
29	総復習(2)	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	ヘアメイク科		60
使用教材	衛生管理		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面について理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	山本 和平	実務経験	○		
実務内容	病院で薬剤師として約5年実務経験を基に、美容師国家試験に必要な衛生管理の知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
2	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
3	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
4	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
5	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
6	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
7	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際
8	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際

9	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1～第4 衛生的取り扱い等
10	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1～第4 衛生的取り扱い等
11	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領③	第5～第6 自主的管理体制
12	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領④	第5～第6 自主的管理体制
13	まとめ	まとめを実施する。
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	公衆衛生	まとめを実施する。
17	公衆衛生	まとめを実施する。
18	環境衛生	まとめを実施する。
19	環境衛生	まとめを実施する。
20	感染症	まとめを実施する。
21	感染症	まとめを実施する。
22	感染症	まとめを実施する。
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	化粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	化粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	化粧品化学		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や化粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実際の知識を習得する。				
到達目標	美容の化粧品化学・美容機器・化粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	黒澤 正樹	実務経験		○	
実務内容	塾や予備校で講師として18年勤務をした実務経験を基に、化粧品化学の知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 1章 化粧品概論	美容師免許を取得する上での必要性、取得までの流れを説明
2	2章 化粧品原料	「化粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料の解説と演習
3	2章 化粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
4	2章 化粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
5	3章 基礎化粧品	「皮膚洗浄用化粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎化粧品」「メイクアップ用化粧品」の解説と演習
6	4章 メイクアップ用化粧品 5章 頭皮・毛髪用化粧品	「メイクアップ化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」「ポイントメイクアップ化粧品の解説と演習 「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
7	まとめ	まとめを行う
8	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「スタイリング剤」の解説と演習

9	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「パーマ剤」の解説と演習
10	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「ヘアカラー」の解説と演習
11	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
12	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	付録 化粧品化学を理解するための基礎化学 付録1～付録2	「物質の構成」「物質(水)の構成」の解説と演習
17	化粧品化学を理解するための基礎化学 付録3～付録5	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習
18	化粧品化学を理解するための基礎化学 付録6～付録7	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習 化学範囲の復習
19	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
20	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
21	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
22	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
23	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
24	まとめ	まとめを行う
25	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	千葉 瑠美 他4名	実務経験		○	
実務内容	美容室で美容師として2年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験に必要な技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)、計測27分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)復習、計測27分～25分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール導入(手順、スライス、ピンニング)、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール導入
5	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール導入
6	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール復習、強化、7段目クロッキノールカール導入
7	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール、7段目クロッキノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス
8	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティングまとめを実施する 1段目～3段目、くり抜き、4段目右リフトカール、5段目左リフトカール計測26分 6段目メイポール、7段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生

9	オールウェーブセッティング	7段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測4段目～7段目カール12分 7段構成 計測35～30分、美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	7段構成 計測35～30分 美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
13	オールウェーブセッティング	7段構成25分 美容師国家試験衛生
14	オールウェーブセッティング 総まとめ	7段構成25分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート	出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	千葉 瑠美 他4名	実務経験	○		
実務内容	美容室で美容師として2年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験に必要な技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック(コム、9ブロック)3分、全頭巻き30分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック(コム、9ブロック)3分、全頭巻き30分 ブロッキング3ブロック導入
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き30～25分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き30～25分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き30～25分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き25分
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き25分

9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全頭計測20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測(カッティングのみ)16分(チェックカット込み)20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測(カッティングのみ)16分(チェックカット込み)20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測(カッティングのみ)16分(チェックカット込み)20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウェーブ:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	三浦 早矢香 他6人	実務経験	○		
実務内容	美容室で美容師として5年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験に必要な技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生

9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング 総まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

各回の展開【オールウェーブセッティング】

回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
6	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	カット教材一式 シャンプー教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	国家試験カット:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% シャンプー:10%/各校フリー:総まとめ20% まとめ15% 授業態度5% 各校フリー:総まとめ30% まとめ15% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「シャンプーイング/各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	尾崎 有華 他6名	実務経験		○	
実務内容	美容室で美容師として5年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験に必要な技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生

9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
12	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

各回の展開【シャンプーイング／国家試験課題】

回数	単元	内容
1	シャンプーイング	シャンプー台の利用の仕方、シャンプー知識、ブラッシング、シャワーヘッドの使用方法 シャンプーのプロセスの理解
2	シャンプーイング	プレシャンプー シャンプー手順 1シャンプー
3	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー
4	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー トリートメント
5	シャンプーイング	シャンプー手順 2シャンプー トリートメント
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウエーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	森口 園水 他14名	実務経験	○		
実務内容	美容室で美容師として11年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験に必要な技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	スチール撮影実習Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	スチール撮影実習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	カメラ機材 筆記用具	出版社	—		

科目の基礎情報②

授業のねらい	作りたいヘアメイクのデザインには、どの様なライトやバック紙を選択すれば良いかを知る				
到達目標	バック紙等、背景の違いによるメイクアップ効果の違いを知る 様々なシーンに合わせた背景を選べるようになる				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅰ-E、スチール撮影実習Ⅰ、ヘアメイク実践Ⅰ				
備考	<ul style="list-style-type: none"> 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 野外での授業は天候により授業の展開が変わることがあります。 				
担当教員	今井 真弓 他4名	実務経験	○		
実務内容	コンサート/舞台メイク/動画撮影のヘアメイクとして12年勤務をした実務経験を基に、撮影の技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション バック紙の使い方と効果	オリエンテーション(後期の流れ・作品撮影・ヘアメイク連動について) 授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	白バック紙にて撮影①	白いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
3	白バック紙にて撮影②	
4	白バック紙にて撮影③	
5	黒バック紙にて撮影①	黒いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
6	黒バック紙にて撮影②	
7	黒バック紙にて撮影③	

8	野外のロケーションにて撮影①	野外のロケーションで、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
9	野外のロケーションにて撮影②	
10	カラーバック紙にて撮影①	カラーバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
11	カラーバック紙にて撮影②	
12	カラーバック紙にて撮影③	
13	作品制作①	テスト 自分でヘアメイクに合うライティングやバック紙を考え作品制作を行う
14	作品制作②	
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	ジャンプアップ		出版社	—	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける 卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている				
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身に付いている。				
評価基準	テスト:50% 提出物:30% 授業態度:20%				
認定条件	成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	築地 瞳 他1名	実務経験		○	
実務内容	美容室で美容師として11年勤務をした実務経験を基に、就職活動に必要な知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職指導の目的 目標設定	・就職指導を行う目的を理解 ・就職決定までの目標設定(内定者は学校生活の目標)
2	SNSについて	・SNSのマナー ・就職活動で有効的な使用方法
3	人を惹きつける自己紹介①	・自己紹介自己PRの違い ・企業やお客様に対して印象に残る自己紹介を考えよう(1分間)
4	人を惹きつける自己紹介②	・前回の内容をグループ内で発表。お互いの特徴を知る
5	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)のポイントを説明、理解する
6	商品プレゼン	・おすすめ商品をピックアップし、商品紹介(プレゼン)内容を考える
7	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)
8	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)

9	一般常識①	・一般常識対策
10	一般常識②	・ビジネスメール(ペーパーテスト)
11	目標設定①	・2年生後期～5年後の目標設定
12	目標設定②	・プレゼンに向けて内容をまとめる(前回の内容)
13	目標プレゼン	・プレゼン発表
14	目標プレゼン	・プレゼン発表
15	総合	・前期総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践 I		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアメイク実践 I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	5	150
使用教材	B教本・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・足袋 ・腰ひも(モスリン(4点))長襦袢(半えり付)・和装スリッパ(下着)・クリップ(5点セット) Eまつ毛エクステーション教材一式 FFun Time! Hospitality Communication実戦形式で学ぶおもてなし英会話 Kアーティスト養成講座…ヘアアレンジ、メイク道具一式		出版社	B桜花出版/KW E公益財団法人理容師美容師試験研修センター F朝日出版社 / 三修社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	B着付け…着付に関する知識・基礎技術を身につける。 Eまつ毛エクステーション…まつ毛エクステーションの理論、眼の周りの病気、禁忌、薬剤の使い方、装着の仕方を学び、実践に慣れさせる。 Fビジネス英会話…ピギナーレベルのヘアメイクアップアーティスト科の生徒にできるだけ専門用語を教え、更に一般的な英語を話せるようにすること。 Kアーティスト養成講座…多種多様なヘアメイクを技術・接客技術を学び様々な現場で活躍できるようにする				
到達目標	B着付け…着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、着付け3級(6月強制受験 免許任意)を取得することが出来る。 Eまつ毛エクステーション…ABEまつ毛エクステーション検定 アシスタントディレクター取 Fビジネス英会話…専門用語を覚え、更に英語が話せるようにすること。 Kアーティスト養成講座…現場に生かせるを技術、知識を身に付ける				
評価基準	B着付け…①検定試験:40%②テスト:30%③授業態度:30% Eまつ毛エクステーション…①テスト40%②小テスト20%③提出物20%④授業態度20% Fビジネス英会話…①テスト50%②小テスト30%③宿題20%、 Kアーティスト養成講座…技術・作品(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	B着付け…①出席が総時間数の3分2以上ある者②成績評価が2以上の者 Eまつ毛エクステーション…①出席が総時間数の3分2以上ある者②成績評価が2以上の者 Fビジネス英会話…①出席が総時間数の3分2以上ある者②成績評価が2以上の者 Kアーティスト養成講座…①出席が総時間数の3分の2以上ある者②成績評価が2以上の者				
関連資格	B着付け…一般財団法人京都市の伝承文化協会 きもの着付け資格 Eまつ毛エクステーション…美容師国家資格(座学) Fビジネス英会話…なし Kアーティスト養成講座…なし				
関連科目	Eまつ毛エクステーション…美容技術理論Ⅱ Fビジネス英会話…サロンワーク、美容実習				
備考	Eまつ毛エクステーション…国家試験合格者にのみ検定ディプロマ発行 原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	今井 真弓 他6名	実務経験		○	
実務内容	コンサート/舞台メイク/動画撮影のヘアメイクとして12年勤務をした実務経験を基に、現場に必要な技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【着付け】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認、準備／片付けの仕方
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け3級検定(小紋の着付と蝶結び(20分))を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学	着物の名称と用語(プリント①②)について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方(自装)と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯1	お太鼓結びでの普段着(小紋)着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯2	お太鼓結びでの普段着(小紋)着付を学び実践する
15	総合学習	総まとめを行う

各回の展開【まつ毛エクステンション】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、 道具確認、ワゴンセッティング	授業の流れとルール説明、道具確認とワゴンセッティング
2	概論、用具 まつ毛エクステンション実習①	まつ毛エクステンションの概論と用具の説明、 用具の消毒と手指消毒、ツイザーの持ち方、まつ毛のかき分け方
3	衛生管理 まつ毛エクステンション実習②	衛生管理、グルーの取り扱いと使用方法と紙でのまつ毛エクステンションの装着
4	保健(皮膚とまつ毛) まつ毛エクステンション実習③	皮膚とまつ毛の構造と病気、Jカールの装着
5	保健(眼) まつ毛エクステンション実習④	眼の構造と病気、Cカールの装着
6	テーピング、リムービングの 使い方と技術	テーピングとリムービングの使用法
7	カウンセリング まつ毛エクステンション実習⑤	カウンセリング、アフターケアの説明、装着復習
8	小テスト タイムトライアル①	復習テスト、検定試験実技の流れ
9	タイムトライアル②	タイムトライアル
10	タイムトライアル③	タイムトライアル
11	小テスト タイムトライアル④	タイムトライアル
12	前期末テスト	前期末テスト
13	検定試験対策①	検定試験実技の対策
14	検定試験対策②	検定試験実技の対策
15	検定試験対策③、検定試験前準備	検定試験実技の対策と検定試験実技の前準備

各回の展開【英会話】

回数	単元	内容
1	授業の目的・成績評価・授業ルール 自己紹介	教員の自己紹介、学生の自己紹介、英語習得の目的や学習するうえで大切なことの落とし込み。 持ち物やルール、テストについて周知する。
2	UNIT1	単語と文法を確認 / ロールプレイング
3	UNIT1 単語テスト/復習UNIT2	UNIT1単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
4	UNIT2 単語テスト/復習UNIT3	UNIT2単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
5	UNIT3 単語テスト/復習UNIT4	UNIT3単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
6	UNIT4 単語テスト/復習UNIT5	UNIT4単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
7	UNIT5 単語テスト/復習UNIT6	UNIT5単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
8	UNIT1-6 テスト(筆記)UNIT7	UNIT1-6 筆記テスト 単語と文法を確認 / ロールプレイング
9	UNIT7 単語テスト/復習UNIT8	UNIT7単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
10	UNIT8 単語テスト/復習UNIT9	UNIT8単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
11	UNIT9 単語テスト/復習UNIT10	UNIT9単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
12	UNIT10 単語テスト/復習UNIT11	UNIT10単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
13	UNIT11 単語テスト/復習UNIT12	UNIT11単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
14	UNIT7-12 テスト(筆記) Speech Training	UNIT7-12筆記テスト P74スピーチを実施
15	総合授業	総まとめ

各回の展開【アーティスト養成講座】

回数	単元	内容
1	アーティスト養成講座導入 作品制作デモ・技術理論・ヘアアレンジ	ベーシック理論・実践デザイン理論(骨格・写真について)
2	アーティスト養成講座導入・課題制作	ベーシック理論・実践デザイン理論(骨格・写真について)
3	フォトコン練習①	外部コンテストにむけて、デザインイメージ制作
4	フォトコン練習②	外部コンテストにむけて、デザインイメージ制作
5	フォトコン撮影①	外部コンテストにむけて、デザインイメージ制作
6	クリエイティブ作品制作①	クリエイティブ作品制作、課題制作テスト
7	クリエイティブ作品制作②	クリエイティブ作品制作、課題制作
8	クリエイティブ作品制作③	クリエイティブ作品制作に向けてのデザイン制作
9	クリエイティブ作品制作④	クリエイティブ作品制作に向けてのデザイン制作
10	ヘアショー練習①	styleの方向性決め・作りたいものが出来る技術を学ぶ
11	ヘアショー練習②	styleの方向性決め・作りたいものが出来る技術を学ぶ
12	テスト	実技テスト
13	作品制作撮影①	各自テーマ設定を行い、作品制作を行う
14	作品制作撮影②	各自テーマ設定を行い、作品制作を行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアメイク実践Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	Aメイク道具一式 Fビジネス英会話…Fun Time! Hospitality Communication実戦形式で学ぶおもてなし英会話 J和装メイク…メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、ブライダル雑誌		出版社	F朝日出版社 / 三修社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	A特殊メイク…特殊メイクの基礎知識・現場での応用技術を出せるようになる。 Fビジネス英会話…ビギナーレベルのヘアメイクアップアーティスト科の生徒にできるだけ専門用語を教え、更に一般的な英語を話せるようにすること。 J和装メイク…ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学び、現場を意識して実践する、洋装和装ヘアメイク・お色直し				
到達目標	A特殊メイク…傷、あざ、火傷などの基礎知識・現場での基礎技術を出せるようになる。 Fビジネス英会話…専門用語を覚え、更に英語が話せるようにすること。 J和装メイク…ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようにする				
評価基準	A特殊メイク…①テスト60%②提出物20%③授業意欲20% Fビジネス英会話…大テスト50%、小テスト30%、宿題20%、 J和装メイク…テスト50%、提出物25%、授業意欲25%				
認定条件	A特殊メイク…①テスト60%②提出物20%③授業意欲20% Fビジネス英会話…①出席が総時間数の3分2以上ある者②成績評価が2以上の者 J和装メイク…①出席が総時間数の3分2以上ある者②成績評価が2以上の者				
関連資格	A特殊メイク…なし Fビジネス英会話…なし J和装メイク…なし				
関連科目	F…サロンワーク、美容実習				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	東原 小百合 他5名	実務経験		○	
実務内容	ブライダルや広告雑誌のヘアメイクとして24年勤務をした実務経験を基に、ブライダルの技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【特殊メイク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、特殊メイクの必要性。評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	特殊メイク	あざ、すり傷の作り方
3	特殊メイク	擦り傷、切り傷
4	特殊メイク	火傷軽度
5	特殊メイク	火傷重度
6	特殊メイク	テーマ設定制作
7	エアブラシ	必要な道具、機器の構造と名所や役割と使用方法。手入れの仕方。
8	エアブラシ	実習
9	エアブラシ	実習
10	エアブラシ	実習
11	特殊メイク	老人メイク
12	特殊メイク	実習
13	特殊メイク	卒業制作
14	特殊メイク	卒業制作
15	総合技術	総まとめを行う

各回の展開【ビジネス英会話】

回数	単元	内容
1	コミュニケーションカ	夏休み宿題発表 & 後期からのルール説明
2	コミュニケーションカ	リスニングのポイント
3	コミュニケーションカ	海外でコミュニケーション法
4	コミュニケーションカ	間違えやすい単語、面白単語、略語、文章①
5	コミュニケーションカ	間違えやすい単語、面白単語、略語、文章②
6	コミュニケーションカ	文章作成①
7	コミュニケーションカ	スモールトーク実践
8	コミュニケーションカ	コミュニケーション/挨拶等
9	コミュニケーションカ	疑問形を使った文章会話
10	コミュニケーションカ	海外でのスモールトークの創り方/その他コミュニケーション会話
11	コミュニケーションカ	小テスト(筆記プラス会話)/今まで習ってきた事
12	コミュニケーションカ	ヘアメイクアップアーティストの台本作成説明
13	テスト対策	台本練習における大切なポイント/発音訓練
14	テスト	ヘアメイクアップアーティストのロープレ本番
15	総合学習	総まとめ

各回の展開【和装メイク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本知識	ブライダルヘアメイクとは ブライダル基礎用語・挙式の種類
2	ブライダル概論・基礎知識①	小物・ドレスラインネックラインの種類・ドレスの着せ方
3	ブライダル概論・基礎知識①	ブーケの種類・髪飾り・ベール種類メンズフォーマル
4	ブライダルメイクの基本①	普段メイクとブライダルメイクの違い
5	ブライダルメイクの基本②	普段メイクとブライダルメイクの違い(実習)
6	ブライダルメイク③	和装座学 和装花嫁デモ(かつら・水化粧)
7	ブライダルメイク④	水化粧相モデル実習
8	和装メイク①	着物メイク(留袖・訪問着)
9	和装メイク②	七五三
10	和装メイク③	成人式 ドレス決め・カウンセリングシート作成
11	卒業制作①	卒業制作 リストブーケ作成
12	卒業制作①	卒業制作 ヘアメイク・ドレス着用
13	卒業制作①	卒業制作 ヘアメイク・ドレス着用
14	卒業制作①	卒業制作 ヘアメイク・ドレス着用
15	総合授業	総まとめを行う